

2025年度 公益社団法人日本地すべり学会 事業計画

1. 総務部

(1) 行事

- ・通常社員総会の開催：2025年6月13日(ハイブリット開催)
- ・理事会の開催：年4回の予定
第1回2025年5月9日、
第2回2025年9月、第3回2025年11月、第4回2026年3月を予定
- ・役員選挙の運営：2025年12月～2026年3月
- ・次年度社員総会の準備：2026年6月を予定
- ・学会活性化施策の企画調整(各支部・各部調整、会議)

(2) 庶務

- ・執行部会参加と審議、電磁記録により理事会対応
- ・理事会、執行部会の議事資料および議事録の作成
- ・定款・規則・細則の見直し、整備
- ・選挙管理委員会、表彰委員会等の支援
- ・学会(各部、支部)アウトリーチの補助、奈良大会の補助
- ・学会長の特命事項

(3) 財務

- ・決算書および予算書の作成

(4) 広報

- ・HP内容の更新および情報の充実、SNSの活用
- ・会員管理システムの維持(メーリングリスト管理)と情報発信の促進
- ・対外活動に係る調整事項(事務局と協力)

(5) 部会

- ・年2回程度の開催を予定(WEB会議)

2. 事業計画部

(1) 2025年度シンポジウムの開催

- ・日 時：2025年6月13日13:00～16:50(予定)
- ・会 場：TKPガーデンシティ渋谷(ハイブリッド開催を予定)
- ・テーマ：「雪氷圏の地すべり(仮)」

(2) 第64回研究発表会及び現地見学会(奈良県奈良市)の開催

① 県民講演会

- ・日 時：2025年9月16日
- ・会 場：奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～

② 開会式・特別講演・研究発表会

- ・日 時：2025年9月17日～9月18日
- ・会 場：奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～

③ 意見交換会

- ・日 時：2025 年 9 月 17 日
- ・会 場：ホテル日航奈良

⑦ 現地見学会

- ・日 時：2025 年 9 月 19 日
- ・見学地：奈良県内（一部、大阪府内）で 3 コースを計画

(3) 地すべり・土石流災害調査報告会

- ・研究調査部と共催（予定）

(4) 部会

- ・年間 6 回(偶数月)の開催を予定

3. 編集出版部

(1) 編集委員会

① 編集委員会の開催(12 回)

② 日本地すべり学会誌 Vol. 62(3)～Vol. 63(2)の刊行(6 回)

特集号の企画：

- ・ 62(4) 「最新のリモートセンシング技術と地すべりの研究」
- ・ 62(6) シンポジウム連携特集号
- ・ 63(2) 「地すべり地形のリスク評価における AHP」

③ 日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行

- ・ 会員は全号閲覧可能・非会員は 1 年以前閲覧可能

④ 技術報告賞および査読者賞の候補者選定

⑤ ML による学会誌最新号案内・特集号原稿募集案内の配信

⑥ 検討中の事項

- ・ 特集号の企画
- ・ シリーズ(「地すべりキーワード 101」、「地すべり探訪」)の継続、講座・シリーズの企画、フォーラム、談話室の充実
- ・ 投稿を促進する方策
- ・ ジャーナル投稿・審査システム「Editorial Manager」のカスタマイズ

(2) 出版委員会

① 委員会の開催(定例 4～5 月、必要に応じて適宜開催)

- ・ 出版・販売計画の作成
- ・ 出版・販売促進活動の実施

② 検討事項

- ・ 「LANDSLIDES IN JAPAN」の出版に向けた作業支援（原稿英訳と英文校正）

③ 出版企画の審査（必要な場合）

4. 研究調査部

(1) 研究助成

- ・ 昨年度からの継続課題は 2 件である。

積雪地域に存する地すべりの活動に影響を与える地下水のかん養域の特定と効果的な排水トンネル工の配置について、3 年目、代表：楠本岳志

地下水排除工のスライム付着防止・除去に資する「黒色物質」の作用メカニズム、2年
目、代表：渡部直喜

(2) 研究委員会

- ・以下の4つの研究委員会の活動を継続して行う。
 - A：地震時地すべり研究委員会、2018～2026年、代表：土井一生
 - B：すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会、2019～2027年、代表：山崎新太郎
 - C：すべり面に作用する地下水ポテンシャルに関する研究委員会、2024～2027年、
代表：渡邊修
 - D：計測変位に基づく地すべり防止工事計画論研究委員会、2024～2027年、代表：萬徳昌昭
- ・今年度も新規の研究委員会テーマ及び委員の公募を行う。

(3) 地すべり・土石流災害調査報告会

- ・今年度も例年実施している災害調査報告会を11月～12月に開催する。

(4) 研究調査部会

- ・研究発表会に合わせて部会を開催する。また必要に応じてメール審議、ないしはWebによる部会を開催する。

5. 国際部

(1) ICLへの各種協力

- ① ICL/IPL 運営会議への参加
- ② KLC2020の推進（オープンアクセスブックシリーズ[Progress in Landslide Research and Technology]への投稿推進、大会時のセッション開催等）
- ③ その他の協力

(2) 2025年度会合(全国大会時を予定)

2025年9月奈良大会

(3) 海外研究者の招聘講演

- ・海外研究者等による講演会（遠隔または対面により開催）

(4) 学会誌「フォーラム」へLandslides誌掲載論文の紹介記事投稿

(5) 全国大会時の英語セッション開催

(6) その他の継続審議課題の検討

- ・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・日本地すべり学会の出版物のICL経由の宣伝の可能性
- ・「斜面对策技術国際化委員会」との連携

6. 表彰委員会

(1) 学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞及びその他の賞)の審査

- ・表彰委員会にて審査(推薦締め切りは2025年3月1日)
- ・表彰式(2025年9月17日、奈良大会会場にて実施)

(2) 名誉会員候補の検討

7. 解説委員会

(1) 解説委員会の開催

9月の研究発表会に合わせて委員会を開催する。また、必要に応じてメール審査による委員会を開催する。

(2) マスコミ対応

災害等におけるマスメディアからの取材依頼等に個別に対応する。

8. 選挙管理委員会

(1) 代議員選挙

・2025年3月に実施した代議員選挙の結果を理事会に報告

(2) 役員選挙

・2026年1～2月に実施する役員選挙の準備・実施

9. 斜面对策技術国際化委員会

(1) 海外での斜面对策工の設計に関する課題を整理し、設計技術解説書（日英版）等の整理を行う。

(2) そのために原稿の推敲会議（年間10回程度）と年間2回程度の委員会を開催する。

(3) 完成した設計技術解説書の日本語版を英語版に翻訳する。

10. 能登半島地震対応委員会

(1) 本学会における能登半島地震に起因する土砂災害に関連する研究を推進し、またそれらの研究活動を総括する。

(2) 本委員会の下に具体的な研究活動を実施する部会を設置して、研究を推進すると共に、学会内の部や支部等と連携して、報告会や報告書の作成を行う。

(3) 活動予定

- ・委員会の開催（3回予定）
- ・具体的な研究活動を実施する部会の設置
- ・報告会の開催（令和6年活動報告、最終成果報告）
- ・中間的な成果の学会Web等での報告
- ・最終報告書の作成

11. 北海道支部

(1) 支部総会：2025年4月25日、北海道大学 学術交流会館小講堂（札幌市）で開催予定

(2) 研究発表会：同上

(3) 現地検討会：9月頃の開催を予定（場所未定）

(4) 第1回支部運営委員会：6～7月の開催を予定

(5) 技術講習会：6～8月の開催を予定、若手会とのコラボ

(6) 第2回支部運営委員会：1～2月の開催を予定

(7) 広報活動：支部ホームページ運営、通年

- (8) シニア会：2回の開催を予定(時期未定)、若手会とのコラボ
- (9) 若手会：3回の開催を予定(時期未定)、技術講習会・シニア会とのコラボ
- (10) 社会貢献活動等：講師派遣、報道対応、災害調査、随時
- (11) 他学協会との交流活動
北海道地すべり学会、応用地質学会北海道支部、
斜面防災対策技術協会北海道支部、北海道地質調査業協会など

1 2. 東北支部

(1) 支部事業

- ① 2025年度東北支部総会及び意見交換会
 - ・日 時：2025年5月23日（総会 14：00～17：00 意見交換会 17：30～19：30）
 - ・場 所：TKP 仙台青葉通りカンファレンスセンター
- ② 講演会及び研究発表会
 - ・地すべり調査、研究に関連する研究成果についての講演、及びワーキング成果の発表
 - ・講演会：第1回 2025年5月23日 第2回 7月下旬以降
 - ・研究発表会：11月中旬
- ③ 「斜面変動研究ワーキング」
 - ・支部若手～中堅会員を対象とした研究、情報交換の場として勉強会グループを募集し、成果を支部内（研究発表会、HP等）で発信、支部内で共有予定
 - ・研究グループごとにテーマに沿って年間に複数回実施予定
- ④ 若手研修会
 - ・若手会員対策事業費を活用し、若手会員および協賛会員向けの実践的な研修を実施
 - ・「斜面防災危険度評価ハンドブック」をテキストにした地形判読演習を含む研修のほか、地すべり地での若手現地研修会の開催も検討
 - ・2025年6月上旬、8月上旬及び10月上旬に開催予定
- ⑤ 地すべり現地検討会
 - ・日 時：2025年9月～10月
 - ・場 所：福島県（予定）

(2) 広報・会勢拡大活動

- ① 支部だより第36号の発行(2025年12月予定)
 - ・支部会員、協賛団体への学会活動の情報提供、支部行事、委員会活動の報告
- ② 支部活動などの情報発信
 - ・ホームページの更新、SNSを活用した情報発信や交流の推進
 - ・支部会員リストを基にした各種の事業開催案内と参加募集、事業報告
- ③ 会勢拡大活動（アウトリーチ連絡会・会員数対策連絡会と連携）
 - ・講師派遣や市民向け勉強会などを通じた支部事業の宣伝活動
→学校や自治体の防災教育、技術研修会への講師派遣
 - ・「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催立案

1 3. 新潟支部

- (1) 2025年度支部総会，シンポジウム

- ・ 2025 年 5 月実施予定（会場未定）
- (2) 2025 年度地すべり現地検討会
 - ・ 2025 年 10 月～11 月頃を予定（開催地未定）
- (3) 新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版出版
 - ・ 2026 年 1 月作業開始、2026 年 5 月出版
- (4) 若手対策事業
 - ・ 学生会員を対象とする公募型研究助成の実施
- (5) 関連団体との連携
 - ・ 新潟県地すべり対策研究会(事務局：新潟県砂防課)への参加
 - ・ 日本応用地質学会北陸支部行事の相互共催
- (6) 幹事会
 - ・ 支部幹事会を 2 ヶ月に 1 回程度の割合で開催（主にオンライン）

1 4. 関東支部

- (1) 支部総会：2025 年 5 月 8 日
（日比谷図書文化館地下 1 階大ホール(東京都)）
- (2) 関東支部シンポジウム：2025 年 5 月 8 日
（日比谷図書文化館地下 1 階大ホール(東京都)）
- (3) 意見交換会：2025 年 5 月 8 日
- (4) 現地検討会
 - ・ 2025 年 9～11 月 1 回
- (5) 共催行事
 - ・ 2025 年 11 月（一社）斜面防災対策技術協会関東支部との共催
- (6) 運営委員会・幹事会等
 - ① 運営委員会
第 1 回 2025 年 4 月、第 2 回 2025 年 12 月
 - ① 幹事会
第 1 回 2025 年 4 月、第 2 回 2025 年 6 月、第 3 回 2025 年 9 月
第 4 回 2025 年 12 月、第 5 回 2026 年 3 月
 - ②（一社）斜面防災対策技術協会関東支部との定例会
2025 年 6 月
- (7) 災害調査
 - ・ 災害発生状況に応じて本部と連携して適宜実施
- (8) 若手会員対策事業
 - ・ 講習会と実習形式の勉強会を企画検討
- (9) 第 65 回（2026 年度）研究発表会および現地見学会への対応
 - ・ 実行委員会および幹事会の組織立ち上げ

1 5. 中部支部

- (1) 支部運営委員会：2025 年 4 月 18 日 長野市
- (2) 支部総会及び特別講演会：2025 年 4 月 18 日 長野市

- (3)アウトリーチ活動・会員対策活動：開催時期及び場所は未定
- (4)支部現地見学会：2025年8月～9月(予定) 静岡県浜松市
- (5)支部シンポジウム：2025年10月17日 長野市
- (6)中部支部ニュースの発行：2026年3月31日発行
- (7)支部幹事会：年4回開催

16. 関西支部

- (1)第1回運営委員会：2025年4月4日(予定)、対面(京都大学防災研究所)+オンライン
- (2)総会：2025年4月21日から25日、オンライン(予定)
- (3)講習会：2025年5月(予定)、阪神エリア
- (4)技術研究集会：2025年5月22日、対面(大阪市ドーンセンター)およびオンライン
- (5)第2回運営委員会：2025年11月(予定)、対面(京都大学防災研究所)+オンライン
- (6)会誌「らんどすらいど」No.41発行：2026年1月(予定)

17. 九州支部

- (1)幹事会：
 - ①第一回2025年4月または5月、オンライン開催または福岡市
 - ②第二回6月予定
 - ③第三回以降は適宜開催
- (2)支部総会：2025年5月中の予定、Web開催
- (3)支部講演会：2025年6月予定、2025年宮崎大会
- (4)現地検討会(支部主催)：2025年宮崎大会で実施検討中
- (5)現場見学会：開催日未定、(一社)斜面防災対策技術協会九州支部・九州地区地すべり防止工事士会(共催)
- (6)技術検討会：2025年12月、沖縄県(予定)
- (8)若手会員育成・会員数増加に関する活動：日本地すべり学会、同九州支部、(一社)斜面防災対策技術協会九州支部の各イベント参加の事業として検討中
- (9)広報：支部ホームページ更新、各県のイベント出展(未定)
- (10)災害調査：発生状況に応じて適宜実施(学会本部と連携、支部関係機関と連携)

18. 会員数対策

- (1)シニア
 - 春期：談話会(参加者：20名程度)
 - 秋期：関東近辺の地すべり巡検(参加者：10～15名程度)
- (2)若手
 - ・日本地すべり学会BIM/CIMネットワークの運営(継続)
 - (構成数：メンバー141名、内：オーガナイザー15名、アドバイザー2名)
 - ⇒オーガナイザーミーティング(回/2～3か月)、オンライン会合(2～3回程度)、
 - 現地・室内研修会1～2回を計画
 - ・若手対策事業の支援(継続)

- ⇒各支部における若手活動への財政支援
 - ・各支部の若手対策担当との連絡会の実施（継続）
 - ⇒学会活動活性化の推進
 - ・若手会員増加への取組み（継続）
 - ⇒ネットワークへの参加者等への入会推奨
- (3) その他
- ・周辺領域の学協会との連携を検討
 - ・魅力的な行事等の創出による会員数増加

19. アウトリーチ

- (1) 組織
- アウトリーチ検討連絡会を Web 開催して活動を行う。
- (2) 本部・支部アウトリーチ活動の整理
- 2023年5月29日に Web 会議で、各支部のアウトリーチ活動の実績に関する整理を行っており、今年度も同様な Web 会議を行い、2023年、2024年の実績整理、2025年実施計画の情報共有を図る。
- (3) 今後のアウトリーチ活動への取組み
- まずは比較的取組みやすい内容について情報収集・実施検討を進める。
- ・メディアを意識したホームページの掲載内容の検討
 - ・地すべり学会とメディアの連携強化策の検討
 - ・SNS等の活用による情報発信

以上